

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	横浜市	代表者名	総務局長 松浦 淳		
担当者部署	総務局人材開発課	連絡先電話番号	045-662-2923		
担当者役職	-	担当者氏名	河野 正寛	連絡先E-mail	
住所	231-0023 神奈川県横浜市中区山下町72-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石塚 清香
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修で取扱いたい内容と研修内容が一致していた。受講者アンケートで「わかりやすい」や「資料が見やすい」といった評価を頂いた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年2月26日	講演(実地)	有	令和6年2月15日	1223
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月20日	講演（実地）	13時00分	17時00分	
				活動時間（分）	240
3-2. 派遣場所	会場名	横浜市研修センター3階研修室	最寄駅	日本大通り駅	
	所在地	横浜市中区山下町72-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	横浜市職員	145 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	デジタル技術を取り入れることで、業務効率向上や市民サービスの向上が図られるが、それらの活用方法や取り入れ方について職員に基本的な知識が根付いていないことが課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	デジタルトランスフォーメーションに関する基本的な知識を身につける。システム連携の実例を知る。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	DXの基本的な事項（概要、仕組み、メリット・デメリットなど）やシステム連携の手法（API等）についての研修の実施。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	受講者アンケートより、デジタルトランスフォーメーションに関する基本的な事項への理解や関心が深まっていると感じられた。また、職場でどのようにDXを活用していくか等についての記述も見られた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 目的にあった研修を行うことができた。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートでは主に満足度、時間配分、資料の分かりやすさ、について5段階で回答をもらい任意でその理由や気づき・学び、感想を記載する方式をとった。すべての項目で平均で4を超えており満足度の高い結果となった。また、DXに対する理解が深まったとする意見が多く見られた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	次年度以降の研修については未定	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

